



仙和西報時報

天長節 特輯號

天長の佳節を迎へて

けふは今上天皇陛下が、御三十六回の御誕辰を迎へさせらるゝめでたき天長節である。陛下には近時御健康ますます勝れさせられ、宵衣旰食、非常時の萬機を攬じたまふ御精神の程洩れ承はり、まことに恐懼の至りに堪へぬ上に、天縱の英明、實際の御経験を積ませられていよいよその光を放たれ、至仁至孝の御徳、ますます天下にあまねく、昭和の御治世も、こ

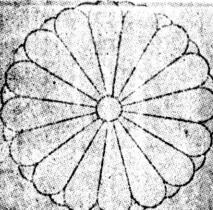
とに十二年の月日を重ねて、皇室の御稟威いや高く、國運の發展いや盛んならんとする聖代のもとに、われ等國民として生を享け、業に就き万里の異邦に在りて尙志なく務めを果し得るは、何たる恵澤、何たる幸福、何たる冥加であらう。ここに此のめでたき日にあひ、まづ恭しく忠良なる帝國臣民の至情と赤心とを傾けて、海岳の皇恩に感謝し、聖壽の萬萬歳を祈り奉るのである。

天長節は、國民的慶賀、奉祝の最も和やかなる佳き日であると同時に、國民的戒慎、反省の最も嚴肅なる教訓の日である、異常の政變の後を承けて出現した林内閣が、その新政綱の發表に際して、「そもそも施政の基本は、肇國の理想を顯揚して、一君萬民、舉國一體の美を済すに存す。此の故に鞏固なる國體觀念を愈よ明徴するは、政府の本務にして、内外諸般の方策皆此處に朝宗す……」と明せる時節柄に於て殊に然り。われら日本國民によりて、天長節は單なる形式的儀禮の日ではない。一君萬民、舉國一體の肇國の理想が、このうちに象徴され、具現され、獨特のわが國民生活の永き歴史並に深き生命と、切つても切れぬ血肉の關係に結びつけられた欽仰の日であり、感激の日である。至尊の御一身とその御人格とは、一系連綿、悠遠の神代にまで遡りて、かの『豐草原瑞穂國は、わが子孫の王たるべき地なり、爾皇孫就きて治めよ、寶祚の隆えまさること天壤とともに窮りながるべし』との御神勅の體現者であらせらるるが故に、今日ここに聖上の御誕辰を祝し奉るにつれ、すなはちおなじ切實さ、清新さ、深厚さ尊貴さをもつて、皇室と國家との元始が想起され直ちに遙かなる過去肇國の精神に立ちかへりて、力強くも豊かに、われ等の民族的思想を涵養し、國民的情操を感發することにあり、われ等をして國體觀念を日月の如く明徴ならしめずんばやまざらしめぬ。

今やわが皇國は、内外ともに最も多事多難、形而下的にも、精神的にも、世界的大波瀾の渦湧中に掀瀧せられつつ、その國運は時代と共に變遷せざるを得ない重大時機に臨んである、われ等臣民はこの多事多難の秋に、昭和聖代の建設について、至尊の常に宸慮を惱ませらるるは、その隨時の御詔勅を拜するごとに、感佩もつて恐察し奉るところである。ことに朝鮮式の勅語中に宣はせられし『模擬を戒め、創造を昂め』の御言葉のごときこの更始一新、庶政匡革の時運における神髓的指導原理を示唆し給ふものと申さねばならぬ。われら臣民擧つて、宏遠なる御聖訓の御主旨を服膺し、感はず、恐れず、勇往邁進して、邦家社會のため最善を致し、無窮の皇運を扶翼し、誓つて聖慮を安んじ奉り天長の佳節をしていよいよめでたからしむるをもつて、今日の願とするのである。

菊御紋章の由來

第十二條 天皇・太皇・后皇・皇后・孫皇・太孫・妃・皇太孫・八重子・菊形・トシ左ノ模式ニ依ル



此の三つの紋がござら

てあるが、その中で最も有力な紋は此の第三の菊花が

紋化したものであるといふこ

とあるやうである。なぜ菊花が

に用ひて延命長壽の効

があるのです。この第三の菊

花は昔から單に御紋章

國伯政情雜觀

大統領選舉を前に
政界の樂屋を覗く

誰の掌に熟柿は落ちる?

(一)

議會政治

十九百十年以來ベルナンデス選舉

の場合にもニロ・ペサンニラの反

對進撃があり、軍事勝利

年以來すつと立派に來て居

うなものである。丁度熟柿が落ちたや

りである。トクロクが無いらし

てゐる。アルガスは州内では依然として

アルガス大統領は依然として

アルガス氏はアルマンド氏に

アルマンド・サンバウロ市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

合組工商ラサイワグ
畑山浜作授忍親吉由藏一
太郎太宗野山田原田藤庄
森佐齋村鴨奥本畠

奉祝天長節

森部市藏

其他苗類 一切

森 部 果 橋 園

祝 奉 節長天祝奉
田 中 旅 館
代 田 中 亦 芝
代 田 中 亦 芝
代 田 喜 市
ベンナボリス市

奉祝天長節

伊藤歯科醫院

ビルグキ驛ニツボテンジヤ町

FARMACIA
Sta. Therezinha
BRAGA & SATO
Telephone 47 - Promissão

サンタテレジンニア薬店
葉剤師
佐藤基三郎

節長天祝奉
J.C.

山本旅館
山本政義
ビリグキ市

大橋寫眞館
大橋茂雄

ブロミツゾン町公園前

奉祝天長節

奉祝天長節

精 珍 所 • 精 米 所

久 保 若 松

奉 祝 天 長 節

奉祝天長節
ビリグキ
佐賀縣人會

奉祝天長節

ベンナボリス驛共和植民地

甲斐喜次郎
馬場益吉
近藤彌一

<p>佐 藤 旅 館</p> <p>左 藤 常 喜</p>	<p>久 保 田 兄 弟 商 店</p> <p>ベニナボリス市 電話一二〇</p>	<p>久 次 均</p> <p>ノロエステ線アバニヤンダーパ驛</p>
<p>天 祝 奉</p>	<p>天 祝 奉</p>	<p>天 祝 奉</p>

節長天祝奉

社會式株植拓伯日 場農サンマラバ

驛バーダンヤニバア 線テスエロノ

醬油
印

黒島伊平治
醸造元

プロミツソン驛前通り

奉祝天長節
青木商店
パール・ハウスタ、ピリヤール
オード代理店雜貨商
飯田商店

部樂俱業商町ソツミロブ

農村擁護觀念の再検討を

再検討を要望

(餘韻) 編々乎ごして暗中へさ
さても孤獨の生活を前人未踏る原
野に暮す農夫、一日、農家の
一生は、それ力を要する勞役を能
くせず挑まず一音打、大地に文化の
鋤耕するを職事し、辛苦力作によ
る成果を一般国民の食料に供じて
新鮮の銳氣を作用し健實なる國民
精神の培養に資し、人口増殖の熱
に熱々加へ國家経済の大資源には
たまた一旦急急の變化に於ける剛
健なる壯丁の火災卒仕に邁進し以
て、漁獵業上一大國家の確立を促
進するの原動力となるの自眞心な
有するに鑑み、さて其の實際生活の
余りに、苦勞多く、翻然の夥々に照
應、轉ばた感慨がちまどく、
しかもかの

(千古) 苓ふつの人らざる原生
林中に彷徨し不測の猛
獸毒蛇の難に裸々し、氣候ふう土
異に身を晒し大雷を避け豪雨を
凌ぎ尚恐るべくが覗き戦ひ開拓
事業の樹立に勤む其間榮養食糧の
不足に惱み異りたる人情ふう俗に
善處、道な考慮し經營に苦心思ひ
た凝らし「耕の結果」、察するの
日久重ね一朝暴ふう吹げ葉は
び去り枝は折り倒れ百日の累積は
空しく地上に散逸し一夜暴雨降
げ花は散落ちて泥土に塗れ若芽は
砂に埋て、一夕肅々の慘る見る
ては、手に汗か握るの悲痛を覺る
とは早天久しうに涉り浮雲一片も
なく曠たる太陽の光線の強々さ
で散落ちて泥土に塗れ若芽は
砂に埋て、一夕肅々の慘る見る
ては、手に汗か握るの悲痛を覺る
みづ竹立久しく茫然失し時に坐
はせぶりの

(遠雷) の音は次第にかすれて
遂に其儘幽かとなる餘
には氣、昔立つ胸は張りさげて血
を吐くの思ひあり天氣悟ふこそばか
り恵ますこの嫉す憤怒に心を燃
やすも哀れ果敢なる人情である、
又は之に反し連日夜叉沛然たる雷
嘲弄を盡じるもの憂あり、苦しそれ
不幸罹疫甚威を逞し再發三度に
病膏肓に入りて怨めしくも遠大の
計畫を冥暗地の底に呪ひ鬼咲歟
聲をあぐらに及んでは慘である

く限り心ゆきまでの力作は自らの脅威に關する話題多し
虚せしむられ戦々兢々薄氷を杖ついて先
が如く耕作の歎き文體低迷して孤
牛に過ぎざるものがある
(それ) 斯の如く農大の心
危險に曝されつ
るが上に其の收穫物も天災の如何
に左右され更にその生産物の
念拂へども去す治安監察の
不便の危惧と文體低迷して孤
抜の農家の淋しい状態に蓋し
に語るは作物の上にあらずし
土病の脅威に關する話題多し
誇張の把臺にあらずけに不
當に當つて一層冒險の道を踏み
らされば換金の途に奸點の
は論外として其市價の如何
に市場商人の口舌に乗せら
に左右され更にその生産物の
策に覆に陥るか然らざれば
の大本を駆動せらる所謂世界界の
場の一言の下に農家の悲愴價の如何
吹かばされて時々勞賃金又は
蟲く除葉代に足もたざる廉價で
て手がすの不幸もつて一上
定の生活を容易に望み離きた
の願心とする
想ふに農村經濟 新くい如く
あり斯くの如き波瀾曲折に年
々陞潤成の如き收得による
々陞潤成の如き收得による
き進歩生産に経営に郷鄰の
の確立は想ひより大抵は
に、そ來年は三一抽一理
算用なし日々送るかるもな
の天候さ諸種 事情は此の傾
(乾坤) 一擲の投機的企业
への永往的觀念を
者「嘗て」其辻道を嘗てらる
免かれる有さまにして殊に
労すること甚だ頻繁である
働けど、働けど暮し樂にいた
裏書するもの多く日本新規企業
の経営は一層多事多難にして
さるものさすれば根本問題
住民の策の意義は雲霧霧々
悔ひか千載の後、残すは勿論
るぢづと手見の時より此の
農家の存立は足下より搖ぎ
亂倒漬すべく甚に於て各自々
最も適切緊要ある經濟行為をして
して其の

番 駢 會	駢	五 駢	○ 駢	駢
<u>節長天祝奉</u>		<u>節長天祝奉</u>		<u>節長</u>
御旅館 鮮魚、 ソ	久 内外雜 ソ	奉祝天 ソ	棉花、 土 ソ	奉祝天 力 ソ

ロカバナ線ジョゼ・テオドロ
郵函九
ロカバナ線ジョゼ・テオドロ
郵函四
光岡傳一
占谷商會
農產物仲買
長節
保田商店
久保田正
雜貨商
辛運ホテ
永利倉庫
仕出し
ロカバナ線ジョゼ・テオドロ
郵函三
ロカバナ線ジョゼ・テオドロ
郵函二
正而通り左側(驛より二百

番驛 賊ル ○驛 雄店	西番驛 曾	八驛 郎同	番驛
奉祝天 棉花農產物 アンターソ	<u>節長天祝奉</u> アタマ	<u>節長天祝奉</u> 日進	三

田商庄

ソロカバナ線

ジョゼ・テオドロ

郵函一

延植民地

ソロカバナ線

ジョゼ・テオドロ

郵函五

日本人

ソロカバナ線

ジョゼ・テオドロ

郵函一

連植民地

ソロカバナ線

ジョゼ・テオドロ

郵函一

長節

ソロカバナ線

ジョゼ・テオドロ

郵函一

岩寶

ソロカバナ線

ジョゼ・テオドロ

郵函一

二九驛 貨 會六驛 會 ○驛 店

祝天長節奉

(同 不 序 順) 9

水野 龍輔	多羅間鐵輔	吉田 梶忠	明穗 實
カフエランドア郡 ノダーラ郡	カフエランドア郡 平野植民地	カフエランドア郡 平野植民地	カフエランドア郡 プロケレツソ
福原 勇	尾崎 孫三郎	山下 永一	古庄 常喜
カフエランドア郡 カフエランドア郡 プロケレツソ	カフエランドア郡 平野植民地	カフエランドア郡 平野植民地	カフエランドア郡 カフエランドア郡
今富 正平	森部 伊三郎	田中 龍介	植田 勘三郎
リанс市	カフエランドア郡 平野植民地	カフエランドア郡 平野植民地	カフエランドア郡 平野植民地
清水 東吾	宮川 爲治	藤永 力藏	服部 新治
リанс市	リанс郊外	カフエランドア郡 パルボーダ植民地	カフエランドア郡 パルボーダ植民地
藤井 政人	鈴木 季造	吉住 勝彦	佐藤 勘七
リанс市郊外	旅館 プロミッソン町	リанс市	カフエランドア郡 平野植民地
宮崎 八郎	山根 寛一	日本 藥局	八尋 鶴次
ビリケ井市	リанс市郊外	リанс市	カフエランドア郡 サーレス
矢原 幸一郎	矢野 彦次郎	池田 忠次郎	藤澤 高雄
昭生植民地 ア・ブルデンテ郡 郵幽 三七四	ゴアビスタ植民地 ア・ブルデンテ郡 郵幽 三七七	プロミッソン町	カフエランドア郡 ゴンザーガ植民地
安倍 利平	疋島 富六	高田 市次郎	佐藤 勘七
サント・アナスタシアード郡	ア・マッシャード郡	ア・マッシャード郡 郵幽 三四	カフエランドア郡 ゴンザーガ植民地
木下 正夫	笹田 正數	向井 精一郎	矢野 重治
バストス移住地事務所 ランシャリア郡	バストス移住地病院 ランシャリア郡	バストス移住地事務所 ランシャリア郡	カフエランドア郡 平野植民地
我妻 三郎	小林 平志	高田 末松	山下 永一
フルーラ小学校 バストス移住地 フルーラ区	バストス移住地 クリア郡	バストス移住地事務所 ランシャリア郡	カフエランドア郡 平野植民地
長谷川 二郎	吉田 梶忠	古庄 常喜	森部 一衛
カーナ東山代理人 リансス駅ウニオナ植民地	カフエランドア郡 カスカチニヤ植民地	リанс市	カーナ東山代理人 リансス駅ウニオナ植民地
内山 吉藏	大河内 庄太郎	吉松 謙藏	日野 千次郎
リанс市	リанс市	リанс市	リанс市
酒井 伊勢芳	宮本 浩	吉松 謙藏	安江 憲右工門
ビリケキ駒 リанс市	プロミッソン町 カスカチニヤ植民地	アラサツーパ市 アラサツーパ市	ビリケキ駒 リанс市
西謙次郎	尾上亮藏	吉松 謙藏	安江 憲右工門
伊藤 利根子	伊藤 利根子	吉松 謙藏	酒井 伊勢芳
西すま子	西すま子	吉松 謙藏	西浦宇治郎
第一小學校	西浦宇治郎	吉松 謙藏	西浦宇治郎
西浦宇治郎	西浦宇治郎	吉松 謙藏	西浦宇治郎
門脇鶴見	門脇鶴見	門脇鶴見	門脇鶴見
ホアビスマ植民地 ブ・ブルデンテ郡 郵幽 七一	ホアビスマ植民地 ブ・ブルデンテ郡 郵幽 七一	ホアビスマ植民地 ブ・ブルデンテ郡 郵幽 七一	ホアビスマ植民地 ブ・ブルデンテ郡 郵幽 七一
中須爲之	中須爲之	中須爲之	中須爲之
ソロ線バラグワースー駅 ル・デンシア 郵幽 三五	ソロ線バラグワースー駅 ル・デンシア 郵幽 三五	ソロ線バラグワースー駅 ル・デンシア 郵幽 三五	ソロ線バラグワースー駅 ル・デンシア 郵幽 三五
琴崎	琴崎	琴崎	琴崎
松本高信	松本高信	松本高信	松本高信
バストス駅便り ランシャリア郡	バストス駅便り ランシャリア郡	バストス駅便り ランシャリア郡	バストス駅便り ランシャリア郡

奉祝天長節

マリリア

旅館同業組合

富永旅館
サンルイス街六八
富永今朝一

當間旅館
當間閑眞
キンゼ・ノ・ヴエンブロ街

大阪ホテル川崎豊一

吉原旅館 吉原宗一 電話 | 二二二

ノウヴエ・デ・ジュリヨ八六

コロネル・ガルジーノ街

バ
ル
ミ
ト
モ
ト
コ
ロ
ネ
ル
・
ガ
ル
ジ
ー
ノ
街

バ
ル
セ
ル
堀
善
太
郎

万平旅館
ソルベツタリア
櫻井庫藏

龜芳旅館
電話一三六九

富士旅館 小林券喜

ハ
バンコ・サンバウロ下
電話 二三一

ホテル・エスター
ソントン・パルク
澤 尾 啓 三

郵函二二七

バイス・レイヌ街一六A
電話二一〇〇

コロネル・ガルジー／一四

バ 宮崎 旅館 ル 宮崎 五男
サン・ルイス街七〇

森 族 館 森 龍 治 郎 電 話 一一八

サン・ルイス街

卷之三



非常時夜曲

小

說

「何も云はない。僕は君と別れる」

「ま、まつていろく毎朝が」

「パン、日本の非常時に弟を立派

「五民間飛行家にする爲に——だら

「やうにゆるやかなワルツを奏で

「なすりつけ、くすぐったく耳計

「で鳴くのだ。」

「一ゆく見給へ」

「わくちや新聞を投げ捨てるぞ

「村尾早足に階段下りて行く」

「待つ！待つて頂戴！」

「四

「何時間泣いたらう？」

「留美はさう泣いた、そこ

「オモチヤ箱をひっくり返したやう

「假裝舞踏の渦である。」

「『君百圓——後、後さして……』

「お、百圓！」留美は目を瞑つて

「答へた。」

「五年の二日日——踊り場トシカ

「リ帽子を紙テープでマスクさ……

「オモチヤ箱をひっくり返したやう

「假裝舞踏の渦である。」

「『君百圓——後、後さして……』

「お、百圓！」留美は目を瞑つて

「答へた。」

ボンペイアペイン・アイ・ペイン・ボン

同 菅山支店

同 金物商太田商店

同 吳服小間物藤岡商店

同 仲買業岡田喜一商店

同 バル旅館兼

同 マフシアアル岸田邊敬秀商店

同 製菓業花田繁雄商店

同 シンガーミ森田時雄商店

同 家具製造清水唯雄商店

同 仲買業大迫榮雄商店

同 宮崎義雄商店

同 健藏雄商店

奉祝天長節

内貨商福岡商店

同 岡田小田商店

同 金物商太田商店

同 吳服小間物藤岡商店

同 仲買業岡田喜一商店

同 バル旅館兼

同 マフシアアル岸田邊敬秀商店

同 製菓業花田繁雄商店

同 シンガーミ森田時雄商店

同 家具製造清水唯雄商店

同 仲買業大迫榮雄商店

同 宮崎義雄商店

同 健藏雄商店

同 金物商太田商店

同 吳服小間物藤岡商店

同 仲買業大迫榮雄商店

同 家具製造清水唯雄商店

奉祝天長節

國際植民地

聯合日本人會

ロンドリーナ日本人會

第一區日本人會

中央區日本人會

ノーバダンチヒ日本人會

カフエザール日本人會

ローランデヤ日本人會

CASA TOKYO

奉祝天長節

内外雜貨

力一ザ・東京

曾根原士圭男
吉安幸平

バール、ビリヤール
木材仲買並運搬

別府忠一

棉花高價買入

完備せる精米工場施設
ハ延長線ヴエラクルズ町

精米工場
松下相吉

奉祝天長節

農產物仲買

東洋棉花會社

EMPREZA DE MELHORAMENTOS

ALTA PAULISTA

パウリスタ延長線發展の羅針盤
トツバン町ダツタ及土地
〔パウリスタ延長線に於ける無比の沃土を
絶えず開放する〕

パウリスタ土地會社
總代理人 荒木武夫
事務所 マリリア市カンボス・サーレス街 C.P.E
トツバン代理人

中村旅館内 丸山榮
プロミツソン驛代理人 中尾友治

節長天祝奉

農產物仲買
内外雜貨
農產物仲買商
高橋金藏

北バラナ、ノーバダンチヒ驛
郵函一二二番

節長天祝奉

自轉車販賣並修繕
バトル及貸自轉車業
北バラナ、ローランジヤ驛
小池孝

節長天祝奉

北バラナ、ローランジヤ驛
淺沼邦行
武敏行

北バラナ、ローランジヤ驛
田中商店
男女服洋裁所

新裝備完成
奉祝天長節
マリリア市サンルイス街
アグドス市
オリニヨス市

吉田寫眞館

奉祝天長節
マリリア市
ブルデンテ・モラエス街
本田寫眞館

るあ用信てく古番一でアリリマ

奉祝天長節
日本藥局
小出虎雄
紫垣春雄
和田光彦
マリリア市サンルイス街
電話一二七

奉祝天長節
國產イムペリアールミシン代理店
入江洋服店
入江重太郎
マリリア興農園市街地
出張所 ボンベイア町
皆様の御引立に依り破格の
好成績にて終始してゐます
ミシンをお求めの際は
是非國產イムペリアールミシン代理店
御愛用下さい

ブルデンテ・モラエス街

**奉
祝
天
長
節
★**

アルヴァアレス・マツシヤード産業組合

電話二六一 郵函二二九

節長天祝奉
農作物仲買、雑貨商
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函八八八

節長天祝奉
皆様の御洋服は何卒繁店へ御用
命の程を願ひます
絹毛織物、リーニ、プリン其
他各種布地取揃へて居ります
宮崎洋服店

節長天祝奉
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函二四六

ANTONIO RODORIGUES
Caixa Postal 90 - Tel. 133
Pes. Prudente

自動車、タイヤ修繕
各種材木販賣
モントアルボン製材所
珈琲精選、購入
モントア珈琲精選工場
アントニオ
コバ
中野主一郎
日本代理
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函九〇電話一三三

奉祝天長節

奉祝天長節

肥田藥店

ブ・ブルデンテ市
ア・マツシヤード驛
公德田商店
前

奉祝天長節
鶴屋製菓所
ソロ線ア・マツシヤード驛
前通り

Bar e Confeitoria Abestruz
Pres. Prudente - E. F. S.

婚禮祭禮用御菓子
調製卸小賣
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函二一五

節長天祝奉

友寄隆信
コバ
コンフェタリア
中野主一郎
C.P.四一〇
ブ・ブルデンテ市
エスキーナ

奉祝天長節

日之出旅館
村田道江館
ブ・ブルデンテ市
郵函三八四

節長天祝奉

大西兄弟商會
農作物仲買
雑貨商
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛
郵函八一電話一三八

節長天祝奉
吉村軍次
日本美髮店
ブ・ブルデンテ市
郵函四二二

節長天祝奉

比嘉盛基
ソルベテリア
ブ・ブルデンテ市
郵函三六七

祝奉
節長天

千歲旅館
石川工場
家具、建具製造販賣
ブ・ブルデンテ市
郵函四二二

祝奉
節長天

國武工場

祝奉
節長天

千歲旅館
石川工場
家具、建具製造販賣
ブ・ブルデンテ市
郵函四二二

節長天祝奉

太陽植民地
荒毛耕地
荒毛勝市

節長天祝奉

ソロカバナ線バラグワースー驛
經由ギラ・ルテシャ
郵函八〇番

節長天祝奉

北バラナ、トレス・バラフ移住
地の御視察者には特に御便宜を
計つて居ります
ソロカバナ線オウリンニヨス駸
郵函一五

小早川旅館
小早川治人

カーヴ東山代理店
ソクレーリン會社代理店
カーヴ
坂田義則

節長天祝奉
奉祝天長節

黑岩秀吉
從業員一同

節長天祝奉

ソロカバナ線バラグワースー驛
本多丈右衛門

ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函K

節長天祝奉

比嘉又榮
醤油製造所
ソロ線ア・マツシヤード驛

ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函一〇四

節長天祝奉

佐藤正志
雜貨商
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛

ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函七〇電話三

節長天祝奉

初村子之吉
農作物仲買、雜貨商
ソロカバナ線ア・マツシヤード驛

ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函七〇電話一九

節長天祝奉

茶屋伯男
玉突
ソロカバナ線ランシヤリ亞驛

ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函七〇電話一九

節長天祝奉

段村政七
ソロカバナ線ランシヤリ亞驛

ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函一二三

奉祝天長節

桑原一
農產物仲買業
ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函一一七

奉祝天長節

野澤商店
外內雜貨商
ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函九六番

ソロカバナ線バラグワースー驛
郵函K

SANBRA

奉
サ
ン
バ
ラ

北伯棉花株式會社
精綿と輸出

マリリア。ランシャリア。コレゴ・リーコ。
リベイロン・ブレート。ペルネイラ。ドア
ルチーナに精綿工場を有す。

聖市アンキエタ街スルカブ建物内

Rua Anchieta
Edificio Sulcap
S. Paulo

AO MUNDO ELEGANTE

Rua Direita, 21 - Fone, 2-0941 S. Paulo

アオ ムンド エレガンテ

A MODA

Rua Direita, 6 - Fone, 2-6327

アモーダは

断然他の追従を許さぬ特別大勉強で御用命に應じてゐます

紺布、木綿物、レンダ、刺繡物、金銀モール、コルセット、ホイナ、毛皮、造花、花飾、ハンカチーフ、エシナルベス、ボタン、フィーベー、海水着一切、駄糞川及びテーブル用品、その他衣服小間物一切

すへに常流行品を一マビルテ木綿切掛一綿物等一及ブ

等一及ブ

御旅行用鞄の各種、スポーツ用具一切は是非伯國最大の工場を有する

カーザ・カゾヰで御求め下さい

日本人青年店員が居り御便利です



S. PAULO

RUA JOSÉ BONIFACIO, 176
Rua Santa Ephigenia, 345

A MAIOR CASA ESPECIALIZADA EM ARTIGOS DE VIAGEM, MONTARIA E ESPORTE

電 略 “ANDERCLAY”

祝 奉

アンダーソン・クレートン會社
ANDERSON, CLAYTON & Co. LTDA.

棉 花
(精綿と輸出)

本 店
サンパウロ市
郵函, 2992

支 店
北伯主要各地

奉 祝

電 略 “MacFadden”

電話 3-3168
3-3169
郵函 2778

マックハーデン會社
McFadden & Cia. Ltda.

棉 花
精綿と輸出

工 場 | パウリスタ線マリリア
同 同リベイロン・ボニニト
ソロカバナ線ジョン・ラマリオ

聖 市
アンキエタ街 35
S 階 812 號室

支 店
レシフェ市

Empreza Paulista de Construções e Sorteios

AVENIDA S. JOÃO, 437
Phone 4-6130 - Caixa Postal, 2474
S. PAULO



Capital a realizar 10 000 000\$000
Fundo de garantia 1.000 000\$000

Autorizada e Fiscalisada pelo
Governo Federal

聯邦政府 認可監督 パウリスタ抽籤貯蓄物品會社



理想的貯蓄を

當會社の特典利用に依つて易々實現

規約

せん。

第四條 「ボブラー」
「パウリスタ」「クルゼー」
の各部に對する加入
金はそれぞれ十ミル、十
五ミル、二十ミルにして
月割支拂額も上記の順序
に従ひ、一債券につき五
ミル、十ミル、二十ミル
とす。(例へばボブラー一
月割支拂額も上記の順序
に従ひ、一債券につき五
ミルとして五ミル加入契
約金として十ミル、併せ
て十五ミル支拂ふべきも
とす)

第五條 抽籤は毎土曜
日伯國聯邦富籤(ロテリ
ア・フェデラル)に依り行
はる。抽籤の結果は
等款 若し同日に抽
籤の記則に従ひ直ちに適當
なる抽籤を行ふべきもの
を採用す)

第二款 抽籤の結果は
本社の外に國內主要諸新
聞に発表され、直ちに關
係者に通知すべきものと
す。又結果は本會社所有
に係る「ノソン・ラール」

紙にも發表さる。該紙は
毎月毎に發刊されものと
して、全ての債券主に

對して無料配布さる(當
の下に聖市商業登録所に
法式通り登録され一九二
七年五月二三日附聯邦令
と稱し、第五五八一四號
X—V—に依り聯邦政府

に認可監督さる。此の事業は「ボブラー」

「パウリスタ」「クルゼー」
の三部よりなり、各

(F) 第六同各百(音ナドン)
(G) 第七同各三百(音ナドン)

二四券合計當選價格三千五百

(A) 第當選價格(音ナドン)

(B) 第二同

(C) 同 第三 二千九百

(D) 同 第四 二千九百

(E) 第五同各一千(音ナドン)

(F) 第六同各一千(音ナドン)

(G) 第七同各一千(音ナドン)

(H) 第八同各一千(音ナドン)

(I) 第九同各一千(音ナドン)

(J) 第十同各一千(音ナドン)

(K) 第十一同各一千(音ナドン)

(L) 第十二同各一千(音ナドン)

(M) 第十三同各一千(音ナドン)

(N) 第十四同各一千(音ナドン)

(O) 第十五同各一千(音ナドン)

(P) 第十六同各一千(音ナドン)

(Q) 第十七同各一千(音ナドン)

(R) 第十八同各一千(音ナドン)

(S) 第十九同各一千(音ナドン)

(T) 第二十同各一千(音ナドン)

(U) 第二十一同各一千(音ナドン)

(V) 第二十二同各一千(音ナドン)

(W) 第二十三同各一千(音ナドン)

(X) 第二十四同各一千(音ナドン)

(Y) 第二十五同各一千(音ナドン)

(Z) 第二十六同各一千(音ナドン)

(AA) 第二十七同各一千(音ナドン)

(BB) 第二十八同各一千(音ナドン)

(CC) 第二十九同各一千(音ナドン)

(DD) 第三十同各一千(音ナドン)

(EE) 第三十一同各一千(音ナドン)

(FF) 第三十二同各一千(音ナドン)

(GG) 第三十三同各一千(音ナドン)

(HH) 第三十四同各一千(音ナドン)

(II) 第三十五同各一千(音ナドン)

(JJ) 第三十六同各一千(音ナドン)

(KK) 第三十七同各一千(音ナドン)

(LL) 第三十八同各一千(音ナドン)

(MM) 第三十九同各一千(音ナドン)

(NN) 第四十同各一千(音ナドン)

(OO) 第四十一同各一千(音ナドン)

(PP) 第四十二同各一千(音ナドン)

(QQ) 第四十三同各一千(音ナドン)

(RR) 第四十四同各一千(音ナドン)

(SS) 第四十五同各一千(音ナドン)

(TT) 第四十六同各一千(音ナドン)

(UU) 第四十七同各一千(音ナドン)

(VV) 第四十八同各一千(音ナドン)

(WW) 第四十九同各一千(音ナドン)

(XX) 第五十同各一千(音ナドン)

(YY) 第五十一同各一千(音ナドン)

(ZZ) 第五十二同各一千(音ナドン)

(AA) 第五十三同各一千(音ナドン)

(BB) 第五十四同各一千(音ナドン)

(CC) 第五十五同各一千(音ナドン)

(DD) 第五十六同各一千(音ナドン)

(EE) 第五十七同各一千(音ナドン)

(FF) 第五十八同各一千(音ナドン)

(GG) 第五十九同各一千(音ナドン)

(HH) 第六十同各一千(音ナドン)

(II) 第六十一同各一千(音ナドン)

(JJ) 第六十二同各一千(音ナドン)

(KK) 第六十三同各一千(音ナドン)

(LL) 第六十四同各一千(音ナドン)

(MM) 第六十五同各一千(音ナドン)

(NN) 第六十六同各一千(音ナドン)

(OO) 第六十七同各一千(音ナドン)

(PP) 第六十八同各一千(音ナドン)

(QQ) 第六十九同各一千(音ナドン)

(RR) 第七十同各一千(音ナドン)

(SS) 第七十一同各一千(音ナドン)

(TT) 第七十二同各一千(音ナドン)

(UU) 第七十三同各一千(音ナドン)

(VV) 第七十四同各一千(音ナドン)

(WW) 第七十五同各一千(音ナドン)

(XX) 第七十六同各一千(音ナドン)

(YY) 第七十七同各一千(音ナドン)

(ZZ) 第七十八同各一千(音ナドン)

(AA) 第七十九同各一千(音ナドン)

(BB) 第八十同各一千(音ナドン)

(CC) 第八十一同各一千(音ナドン)

(DD) 第八十二同各一千(音ナドン)

(EE) 第八十三同各一千(音ナドン)

(FF) 第八十四同各一千(音ナドン)

(GG) 第八十五同各一千(音ナドン)

(HH) 第八十六同各一千(音ナドン)

(II) 第八十七同各一千(音ナドン)

(JJ) 第八十八同各一千(音ナドン)

(KK) 第八十九同各一千(音ナドン)

(LL) 第九十同各一千(音ナドン)

(MM) 第九十同各一千(音ナドン)

(NN) 第九十同各一千(音ナドン)

(OO) 第九十同各一千(音ナドン)

(PP) 第九十同各一千(音ナドン)

(QQ) 第九十同各一千(音ナドン)

(RR) 第九十同各一千(音ナドン)

(SS) 第九十同各一千(音ナドン)

(TT) 第九十同各一千(音ナドン)

(UU) 第九十同各一千(音ナドン)

(VV) 第九十同各一千(音ナドン)

(WW) 第九十同各一千(音ナドン)

(XX) 第九十同各一千(音ナドン)

(YY) 第九十同各一千(音ナドン)

(ZZ) 第九十同各一千(音ナドン)

(AA) 第九十同各一千(音ナドン)

(BB) 第九十同各一千(音ナドン)

(CC) 第九十同各一千(音ナドン)

(DD) 第九十同各一千(音ナドン)

(EE) 第九十同各一千(音ナドン)

(FF) 第九十同各一千(音ナドン)

(GG) 第九十同各一千(音ナドン)

(HH) 第九十同各一千(音ナドン)

(II) 第九十同各一千(音ナドン)

(JJ) 第九十同各一千(音ナドン)

(KK) 第九十同各一千(音ナドン)

(LL) 第九十同各一千(音ナドン)

(MM) 第九十同各一千(音ナドン)

(NN) 第九十同各一千(音ナドン)

(OO) 第九十同各一千(音ナドン)

(PP) 第九十同各一千(音ナドン)

(QQ) 第九十同各一千(音ナドン)

(RR) 第九十同各一千(音ナドン)

(SS) 第九十同各一千(音ナドン)

(TT) 第九十同各一千(音ナドン)

(UU) 第九十同各一千(音ナドン)

(VV) 第九十同各一千(音ナドン)

(WW) 第九十同各一千(音ナドン)

(XX) 第

昭和十二年四月二十三日
在サンパウロ
帝國總領事館

木村洋服店
主誠
聖市オノセ・デ・アゴスト
六十四番(裁判所前)

ミシンは……
國産イムペリアール

法律

聖市プラッサ・ダ・セ・セ・セ・セ
郵便 聖市一七二三二
電信 二二七二三二
一九二九年創設
牧法律事務所
牧 義 朝
東京帝大法科卒業
サンバクロ法科大學教授
顧問 スペンセル・バンブレ
御用封入ノコト

科目業
賣地

種子物其他雜
新農用藥品及
粉末石灰並に
貨類貯販

聖市バジエー街二二番
カーザ・フェリス
平 佐 吉
電話 一六〇二番
昭和十二年三月二十三日相應申候
希客の方は左記へ
Rua Felinto Marcondes 22

開業披露

和親佛事務
特に勉強致ります
古川坂屋
バストス市街地 郵函二八二

昭和十二年三月二十三日相應申候
Escr. de Advocacia Seitoku Zakimi

法律呼寄報化者願書
聖市カルモ街一八番
郵函七三一七五號室
法大學生座喜味盛德

電話二〇〇九〇番

御出聖のた買物は?

SOCIEDADE JAPONEZA
DE GOMMERCIO LTDA.
Rua Alvares Penteado, 19 Sob.
C. P. 3973 - Tel. 2-2040
S. Paulo

日本商人事協會
△優良品を安價に、お届けは迅速に、御用
命に應じます
△値段表説明書は申込次第送付
「直接工場より消費者へ!」

昭和十二年四月十九日
故景吉 妻長男 深川一景
敬具

歸國御挨拶

拜啓時下愈々御清祥の段奉慶賀候
陳者私共今回四月二十日出帆のラプラタ丸にて
歸國政候に付ては亡夫の生前及死後に於て賜は
りたる多大なる御厚誼を深く謝すると共に謹んで
貴家將來の御萬福を祈上昇候茲に出發に際し
略儀乍ら紙上を以て御禮旁々御挨拶申上候

昭和十二年四月十九日
故景吉 妻長男 深川一景
敬具

昭和十二年四月十九日
故景吉 妻長男 深川一景
敬